

# 道

2021・6・30

通信 No 1641



アケビ

## 《7月練習日・練習時間について》

先週号に掲載した予定表に時間を明記していませんでしたのでお知らせします。  
まん延防止等重点期間中は20時以降の施設利用については自粛するように要請を受けていますのでなるべくその方向で練習時間を組むことになります。

月	日	曜日	場 所	時 間
7	14	水	吉野町プラザホール	5時50分 準備開始
	19	月	吉野町プラザホール	6時00分 団員受付開始
	21	水	吉野町プラザホール	6時10分 練習開始
	26	月	岩間ホール	8時10分 練習終了
	28	水	吉野町プラザホール	8時10分 後片付け ※パート毎に輪番でお願いします。

## 《リレーエッセイ》

淵 真澄

～合唱との出会いを振り返って～

記憶に残っている最初の合唱は昭和21年、引き揚げ難民キャンプでの合唱「ずいずいずっころばし」です。快適からは程遠い生活でしたが、日本に帰ることが出来る喜びを胸に抱いて、子どもたちを集めて合唱のリードをしてくれた見知らぬおじいさんとの楽しかったひとときでした。

小学校時代はもちろん文部省唱歌でした。歌うことが好きで、歌詞の意味も分からず、ひたすら大きな声で歌っていました。中学校ではコーラスに目覚めて、アメリカ、イギリス、ドイツの歌を歌い、歌唱力を身に付けることが出来た時期でもありました。高校はカンツォーネが好きな音楽の先生に感化されてカンツォーネにのめり込み、合唱とは距離を置いた時期でした。

そして、大学入学時にロシアの歌「おお、カーリーナの花が咲く」との出会いがありました。歌唱指導の集会に参加して歌った際に「ラ ラ #ソ ミ ラ レ ド ド シラ シ ラ」の音の展開に新鮮なショックを受けた事を記憶しております。こんな音の展開があるのか！でした。その出会いから、大学ではロシアの曲も取り上げているコーラス団体（指導は関忠亮先生）に参加し、その際に「トロイカ」、「バイカル湖のほとり」、「黒い瞳の」、「エルベ河」、「アムール河の波」などの合唱曲を歌いました。2年間はロシアの曲以外も含めての混声合唱にどっぷりと浸っていましたが、2年間で区切りを付け、その後は仕事のための44年間を過ごしました。その期間は音楽といえば、たまのクラシックコンサートや「お付き合いカラオケ」のみ。

44年間経過後も仕事はまだ継続することになりますが、人生の残りが少なくなっていることに焦りを感じ、不完全燃焼に終わった大学時代の「ロシアの歌」に再挑戦する決心をしました。

それが合唱団「道」との出会いです。合唱遍歴の終盤を充実したものにしたいと思っています。